



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!
押してね😊

2024.12.01 第56号 国際交流員って何をやっているの？



こんにちは、モンゴル出身の国際交流員のノミンです。皆さんは「CIRのつぶやき」を読んで、CIRとは何を意味し、国際交流員はどのような仕事をしているのかを疑問に思ったことがありますか？

私は、今まで主にモンゴルの文化などを紹介して来ましたが、今回は、国際交流員の活動を紹介したいと思います。

CIRの中間研修の時、全国でモンゴル出身のCIRはわずか4人でした。向かって右側が私です。

国際交流員とは

CIRは「国際交流員」(Coordinator for International Relations)のことで、それぞれの単語の頭文字をとった略称です。国際交流員とは、地域の国際交流推進を図るため招致された外国人のことです。主に日本語と母国語の翻訳や通訳のほか、国際理解のための交流活動を行っています。

小中高校で英語などを教える外国語指導助手(ALT)、地域のスポーツ促進に協力するスポーツ国際交流員(SEA)とCIRの3つ職種を合わせて、JETプログラムの参加者となります。JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)プログラムは総務省、外務省、文部科学省、自治体国際化協会の協力の下、地方自治体の独自事業として1987年にスタートしました。

JETプログラムで、開始以来、77カ国から7万5千人以上が参加、2024年時点では、51カ国から5,861人が招致されています。CIRだけでは、36カ国から479人、北海道には、14の道市町村に44名のCIRがいます。

<https://jetprogramme.org/ja/countries/>

滝川市では、私を含めて、アメリカ出身のアシュリーさん、



アメリカ出身のアシュリーさん



アメリカ出身のラレンさん

同国出身のラレンさんの3名がCIRとして勤務しています。滝川市は、平成2年から現在まで、10カ国から36名のCIRを受け入れています。



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る

Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2024.12.01 第56号 国際交流員って何をやっているの？

滝川市はアメリカ合衆国マサチューセッツ州スプリングフィールド市及びロングメドールと姉妹都市であり、モンゴル国のウブルハンガイ県とは友好交流の関係があります。姉妹都市、友好交流都市関連の通訳、翻訳、母国の情報発信がCIRの主な仕事の一つです。



2024年5月
ウブルハンガイ
県知事と
滝川市長の
表敬

滝川市とモンゴル

2010年にモンゴル出身の横綱の白鵬が滝川市の観光大使に任命されてから、滝川市とモンゴルの交流が始まりました。

滝川市は、モンゴルのウブルハンガイ県と10年以上の友好交流があります。



滝川市が寄贈した退役消防車、退役消防警報車、退役救急車がモンゴルで現役で活躍しています。



全国から贈りいただいたランドセルを受け取ったモンゴルの子どもたちからの素敵な手紙

CIRのもう一つの仕事は地域の国際交流を促進することです。各CIRは、色々なイベントなどを通して、異文化の理解に努めます。また、市内の保育所や小中高校へ訪問し異文化の講座を開催します。

市民や子ども達が多様な文化や言語背景を持つ外国人との交流を通じ、異文化への理解を深めることで国際的な視野を広げ、これからの多様化した世界の社会に活躍できるグローバルな人材になる一助を目標に活動しています。



「おれんじフェスタ」にて
モンゴル伝統文字体験



夕張市のイベントで
モンゴルの文化紹介



ランタンを作って、
市民と交流



滝川高校とモンゴルの
メルゲド学校のオンライン交流



第一小学校
異文化講座



富良野緑峰高校
異文化コミュニケーションの授業



市内の児童館
モンゴルの伝統ゲーム紹介



FMG`Sky
ラジオ番組の収録



滝川国際交協会の公式
ユーチューブでモンゴル語講座